



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9767 URL http://www.nikken-kogaku.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,649	△9.6	△268	—	△284	—	△333	—
29年3月期第2四半期	4,036	△10.6	△10	—	△20	—	△25	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △315百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △29百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△18.29	—
29年3月期第2四半期	△1.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,081	1,998	24.7
29年3月期	7,017	2,369	33.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,994百万円 29年3月期 2,365百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	3.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,880	14.6	△21	—	△39	—	△92	—	△5.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）三省水工株式会社、除外 1社 （社名）

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	18,622,544株	29年3月期	18,622,544株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	376,108株	29年3月期	369,361株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	18,251,188株	29年3月期2Q	18,255,681株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国政権の政策不安や北朝鮮情勢による地政学リスクの高まり等が先行きのリスク要因としてあるものの、企業業績や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調が継続しています。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前期同様に東日本大震災の復興工事における海岸堤防、防潮堤工事の受注に傾注いたしました。型枠貸与事業、資材・製品販売事業ともに進捗の遅れと受注の減少により、売上は減少し、資材・運送費の値上りおよび管理費等の固定費の負担増加により、営業利益、経常利益が減少しました。また、当社の協力会社の事業再編にかかる費用を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、3,649百万円(前年同四半期比386百万円減)となり、営業損失268百万円(前年同四半期は10百万円の営業損失)、経常損失284百万円(前年同四半期は20百万円の経常損失)となり、特別損失に負ののれん発生益160百万円および事業整理損194百万円が生じ、親会社株主に帰属する四半期純損失は333百万円(前年同四半期は25百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

事業別の売上高は、型枠貸与事業が573百万円(前年同四半期比142百万円減)、資材・製品販売事業が3,076百万円(前年同四半期比243百万円減)となりました。

利益につきましては、型枠貸与事業の営業損失が115百万円(前年同四半期は86百万円の営業利益)、資材・製品販売事業の営業損失が152百万円(前年同四半期は97百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,081百万円となり、前連結会計年度末比1,063百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加1,419百万円、商品及び製品の増加136百万円及び受取手形及び売掛金、電子記録債権の減少764百万円等によるものであります。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は6,083百万円となり、前連結会計年度末比1,434百万円の増加となりました。

その主な要因は、長・短期借入金の増加1,628百万円及び仕入債務の支払等による支払手形及び買掛金の減少273百万円、リース債務の減少66百万円等によるものであります。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,998百万円となり、前連結会計年度末比370百万円の減少となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少388百万円及びその他有価証券評価差額金の増加18百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下資金という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,419百万円増加し、1,827百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は324百万円(前年同四半期は154百万円の収入)でした。主に売上債権の減少1,341百万円、減価償却費163百万円、仕入債務の減少682百万円等によるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は15百万円(前年同四半期は36百万円の支出)でした。主に鋼製型枠等有形固定資産の取得による支出59百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入59百万円、吸収分割による支出23百万円等によるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により得られた資金は1,110百万円(前年同四半期は243百万円の収入)でした。主に長・短期借入による収入3,610百万円、長・短期借入金返済による支出2,344百万円、リース債務返済による支出99百万円、配当金の支払額54百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期の業績及び通期の経営環境を踏まえ、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想を変更いたしました。

詳細につきましては、平成29年11月10日公表の「特別損失の計上、業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	407,707	1,827,059
受取手形及び売掛金	3,478,687	2,637,642
電子記録債権	198,945	275,336
商品及び製品	1,753,620	1,890,167
原材料及び貯蔵品	6,958	19,746
繰延税金資産	6,700	—
その他	172,525	123,877
貸倒引当金	△9,945	△9,860
流動資産合計	6,015,200	6,763,970
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	328,000	266,134
建設仮勘定	9,100	9,100
その他（純額）	166,177	393,969
有形固定資産合計	503,277	669,203
無形固定資産	17,071	20,526
投資その他の資産		
投資有価証券	295,916	365,715
長期貸付金	76,500	—
その他	335,194	439,248
貸倒引当金	△225,704	△177,364
投資その他の資産合計	481,905	627,600
固定資産合計	1,002,254	1,317,330
資産合計	7,017,455	8,081,301
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,979,521	2,705,547
短期借入金	610,000	1,290,000
1年内返済予定の長期借入金	124,692	341,208
未払金	100,968	149,416
リース債務	195,686	159,561
未払法人税等	47,379	13,301
その他	145,801	139,947
流動負債合計	4,204,048	4,798,983
固定負債		
長期借入金	211,109	943,581
リース債務	146,212	116,159
繰延税金負債	3,050	7,861
退職給付に係る負債	53,530	179,682
その他	30,311	36,770
固定負債合計	444,215	1,284,055
負債合計	4,648,263	6,083,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,702	541,702
利益剰余金	832,662	444,123
自己株式	△63,479	△64,646
株主資本合計	2,315,313	1,925,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,279	68,436
その他の包括利益累計額合計	50,279	68,436
非支配株主持分	3,598	4,217
純資産合計	2,369,191	1,998,262
負債純資産合計	7,017,455	8,081,301

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,036,465	3,649,727
売上原価	3,319,710	3,115,262
売上総利益	716,755	534,465
販売費及び一般管理費	727,459	803,180
営業損失(△)	△10,703	△268,714
営業外収益		
受取利息	496	36
受取配当金	6,462	7,033
受取保険金	3,000	—
為替差益	—	25
たな卸資産処分益	1,079	9,046
その他	736	1,367
営業外収益合計	11,774	17,509
営業外費用		
支払利息	10,782	9,918
支払手数料	4,333	21,595
為替差損	54	—
手形売却損	3,247	1,453
その他	3,428	660
営業外費用合計	21,845	33,629
経常損失(△)	△20,774	△284,835
特別利益		
負ののれん発生益	—	160,951
特別利益合計	—	160,951
特別損失		
事業整理損	—	194,647
特別損失合計	—	194,647
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,774	△318,531
法人税等	5,260	14,628
四半期純損失(△)	△26,035	△333,159
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△325	619
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,709	△333,778



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純損失（△）	△26,035	△333,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,615	18,157
その他の包括利益合計	△3,615	18,157
四半期包括利益	△29,651	△315,002
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,325	△315,621
非支配株主に係る四半期包括利益	△325	619

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△20,774	△318,531
減価償却費	163,576	163,759
負ののれん発生益	—	△160,951
貸倒引当金の増減額（△は減少）	269	△76,027
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4,875	△10,044
受取利息及び受取配当金	△6,958	△7,069
支払利息	10,782	9,918
為替差損益（△は益）	54	△10
売上債権の増減額（△は増加）	1,367,372	1,341,151
たな卸資産の増減額（△は増加）	△127,460	22,892
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,213,125	△682,429
未払消費税等の増減額（△は減少）	53,539	△69,863
その他	△56,160	152,153
小計	166,238	364,947
利息及び配当金の受取額	6,393	8,195
利息の支払額	△10,865	△9,969
法人税等の支払額	△6,977	△38,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,788	324,934
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△34,781	△59,633
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	59,041
吸収分割による支出	—	△23,627
その他	△1,300	△1,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,081	△15,768
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,820,000	2,910,000
短期借入金の返済による支出	△1,599,880	△2,230,000
長期借入れによる収入	325,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△95,835	△114,767
自己株式の取得による支出	△436	△611
配当金の支払額	△56,971	△54,767
リース債務の返済による支出	△147,969	△99,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	243,908	1,110,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	362,616	1,419,351
現金及び現金同等物の期首残高	542,528	407,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	905,144	1,827,059

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、三省水工株式会社の発行済株式の全部を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、三省水工株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、NK関西工建株式会社100%出資の設立を行い、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	716,383	3,320,082	4,036,465
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	716,383	3,320,082	4,036,465
セグメント利益又はセグメント損失(△)	86,676	△97,380	△10,703

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△10,703
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△10,703

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	573,458	3,076,268	3,649,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	573,458	3,076,268	3,649,727
セグメント損失(△)	△115,788	△152,926	△268,714

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△268,714
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△268,714

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結累計期間において、三省水工株式会社を子会社化したことに伴い、負ののれん発生益160,951千円を特別利益に計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。